

# わがまち まごめ

|                           |        |
|---------------------------|--------|
| 馬込管内世帯人口数<br>(令和8年1月1日時点) |        |
| ・世帯数                      | 32,517 |
| ・人口(男)                    | 28,531 |
| ・人口(女)                    | 29,651 |
| ・人口(計)                    | 58,182 |

発行 地域力推進馬込地区委員会  
事務局 馬込 特別出張所  
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5  
☎(3774)3301(代)  
ホームページアドレス(大田区役所大森地域)  
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>



大森駅行きの「白田坂上」バス停のすぐ近くに、磨墨の墓といわれる「磨墨塚」(南馬込三二一八一二)があります。いかにも古い塚らしい小高い盛り土の上には、明治33(1900)年に馬込村の有志による大きな石碑が建てられていて、碑には「正治二年五月十七日埋馬せりと云」と刻まれています。

この碑の南東側(馬込第二小学校へ下る側)を「駒落の谷」といい、磨墨が落ちて落命した谷とされています。また北西側(バス通りを越えた側)を「鏡谷」といい、磨墨の倒れた時に鏡がはね飛んで落ちた所、また磨墨を埋める時にその鏡を捨てた所ともいわれています。



「磨墨」とは、『平家物語』に登場する梶原源太景季の愛馬の名前です。馬込には、この磨墨の伝説があります。「墨をすったように真っ黒な名馬」が磨墨の名の由来です。今年はいま。干支にちなんで、この伝説を探訪してみましよう。

南馬込四丁目(四と一二の間)に「鏡坂」という坂道がありますが、大正13年ごろに行われた耕地整理で今の道幅となり、その名がつけられました。以前は幅三〜四尺(1メートルほど)のあぜ道で、坂の下に道はなく田んぼでした。現在、荏原町方面行き「白田坂上」バス停そばの急坂を、昔は「鏡坂」と呼んでいたそうです。少し離れています。鏡谷の坂ということですが、磨墨の名を語り継ぐ馬込の人びとの思いが、坂の名にこめられているのではないのでしょうか。

磨墨の物語は『平家物語』によると、次のように語られています。

源頼朝に命じられて京都へ向かう義経軍の中に、佐々木四郎高綱と梶原源太景季という若武者がいた。その頃頼朝は、いけずき、磨墨という二頭の名馬を持っていた。いけずきを梶原がしきりに所望していたが、頼朝は「万一の時、自分が乗ろうと思つてゐる馬だ。」と、梶原に磨墨を与えた。ところが佐々木が出陣の挨拶に来た時、頼朝は「いけずきを欲しがらる者はたくさんいるのだが、それを承知の上で受

け取れ。」と、いけずきを与え、佐々木はいけずきで宇治川を真っ先に渡ること誓った。

義経軍は鎌倉を出発し、駿河の国に到着した。梶原が高台から、この中でも磨墨以上の優れた馬はいないと得意になって見ていると、いけずきらしい馬が目についた。それは誰の馬かと尋ねると、「佐々木殿の御馬です。」とのこと。梶原は怒り、「頼朝殿がそのおつもりなら、ここで佐々木と刺しちがえて、よい武者が二人死ぬことで、頼朝殿に損をさせてやろう。」と佐々木に声をかけた。

佐々木は「この人もいけずきを所望していたのだ。」と思い出し、「梶原殿が望んでもかなわなかつたといけずきを私がいただけるわけがないと思つて、鎌倉を発つ直前に、頼朝公のもとから盗んで参りましたが、いかがでしょう。」と答えると、梶原は機嫌を直して、「そうか、私も盗めばよかつた。」と大笑いし、事もなく終わった。

その後、宇治川の合戦の折、佐々木と梶原の先陣争いとなる。最初、磨墨が先に進んでいたが、佐々木は「梶原殿、馬の腹帯がゆるんでいるようですぞ。」と声をかけ、梶原が確かめているうちにすつと抜き去って宇治川を渡り、先陣の名のりをあげた。

磨墨は、佐々木の機知で二番手となつてしまいましたが、見事に急流の宇治川を渡りきりました。二頭の名馬の活躍もさることながら、「名を惜しむ」鎌倉武士の意地の張り合いがうかがえる名場面です。

いけずき、磨墨の登場する場面は『平家物語』の中でもこれだけですが、後世に至るまで、人びとに強い印象を与えました。

また、「梶原屋敷」といわれ、萬福寺とともに『江戸名所図会』にも掲載されている、馬込城趾のすぐ前に、郷土博物館(南馬込五一一一三)があります。城趾は、今は何も痕跡が残っていませんが、湯殿神社を含む、背後の台地が本丸の跡といわれます。磨墨の活躍した時代のずつと後になります。後北条氏の下にあった梶原三河守の居城であろうと伝わっています。

磨墨塚から萬福寺、郷土博物館へと、名馬磨墨伝説ゆかりの馬込散歩を、春の一日、楽しんでみるのはいかがでしょうか。

磨墨塚のほかに馬込では、梶原源太景季の父、梶原平三景時が開基と伝えられる萬福寺(南馬込二一四九一一)が、磨墨に縁ある寺院と伝えられています。山門近くに、名馬磨墨の像もあります。像の下の駐車場を使って、毎年秋に「するすみ祭り」が行われ、子ども動物園などの催しも開かれます。



また、「梶原屋敷」といわれ、萬福寺とともに『江戸名所図会』にも掲載されている、馬込城趾のすぐ前に、郷土博物館(南馬込五一一一三)があります。城趾は、今は何も痕跡が残っていませんが、湯殿神社を含む、背後の台地が本丸の跡といわれます。磨墨の活躍した時代のずつと後になります。後北条氏の下にあった梶原三河守の居城であろうと伝わっています。

磨墨塚から萬福寺、郷土博物館へと、名馬磨墨伝説ゆかりの馬込散歩を、春の一日、楽しんでみるのはいかがでしょうか。





令和7年11月11日に馬込小学校の3年生の子どもたちが、馬込のまちをもっときれいにしたいという思いから、通学路にある4カ所の公園などの清掃活動を行いました。

夏休み前頃から事前準備のため、学校運営協議会を通じて保護者の方々や学区の各町会(馬込東三丁目町会、東馬込町会、南馬込西一會、中馬込宮ノ下町会)に協力依頼をし、実施されることになりました。



当日はおそろいの赤い校外活動用のハットをかぶり、3年生の4つのクラスごとに担当の公園

を割り振り、たぬき山公園、南馬込一丁目児童公園、湯殿公園、宮ノ下児童公園、薬師跨線人道橋をそれぞれ清掃しました。定期的に枯れ葉がたくさん散っていました。子どもたちは一生懸命植え込みの間に体をこじ入れて枯れ葉やごみをできる限り拾いました。集めたごみはすべて学校へ持ち帰って重さを計ったそうです。

### 「みんなで作ろう 北一町会」を開催

北馬込一丁目町会が、地域に一人でも多くの顔見知りを作ることを目標に、11月24日(月・振替休日)「北馬込わくわく公園」でイベントを行い、多くの来場者で賑わいました。

好天に恵まれ汗をかくような陽気の中、白バイの試乗、ピーポくん記念写真、消防ポンプ車展示と子ども用の消火服試着、消火器噴射体験、トヨタモビリティ東京さんからはEV車の「災害時電源供給車」が来て炊出し(とん汁、ポップコーン、ピザ)、テント内の電源供給を行いました。ほかにスーパーストックゲームもありました。



## 馬込情報

### ◎大田区野菜と花の品評会

令和7年11月16日、大田文化の森にて「第76回大田区野菜と花の品評会」が開かれました。馬込からの出品では、城下美恵子さんの赤芽ジャガイモ、城下君子さんの冬瓜・獅子ユズ、河原理桜さんのきんかん、波田野道子さんのパンジー、河原範雄さんのレモンが優秀賞を受賞。波田野清明さんのシクラメンが東京都知事賞を受賞しました。



### ◎日赤献血にご協力を

- 3/5(木) 馬込特別出張所
- 3/6(金) ライフコミュニティ西馬込 受付時間(各会場とも) 10時～11時15分
- 12時45分～15時45分 (11時15分から12時45分までの間は受付できませんので、あらかじめご了承ください。)
- ◎宮ノ下町会文化部おさらい発表会 3/1(日) 13時 宮ノ下町会会館
- ◎北野町会・青年会もちつき大会 3/8(日) 10時 北野神社
- ◎南馬込中和会もちつき大会 3/8(日) 11時 熊野神社

### ◎寺郷町会子ども会・花見会

3/29(日) 11時 北馬込寺郷公園

### ◎龍子記念館 (TEL 3772-0680)

●名作展「絢爛と健剛 川端龍子の作品における装飾性」併催・町立湯河原美術館収蔵 平松礼二作品展 令和8年3月28日(土)～6月7日(日)

### ◎熊谷恒子記念館 (TEL 3773-0123)

●かなの美展「書家・熊谷恒子の歩み―『古今和歌集』から振り返る―(仮)」令和8年4月18日(土)～9月27日(日) ※会期中中、一部作品入替え

### ◎馬込図書館 (TEL 3775-5401)

●第11回馬込文士村資料展 令和8年3月20日(金・祝)～24日(火) 10時～17時。文士に関する所蔵資料を手に取れる形で公開。関連のDVD上映も。

### ●電子書籍おはなし会 令和8年4月29日(水・祝) 15時～15時30分。

### ◎郷土博物館 (TEL 3777-1070)

●写真展「郷土を知ること、学ぶこと―宮川茂が写した大田―」令和8年1月20日～3月15日

### ●特集展示「蒐集家 宮川茂」令和8年1月20日～3月15日

●特集展示「沿線案内でみる四季折々の旅」令和8年1月20日～4月12日

### ◎第36回馬込文士村大桜まつり

●令和8年4月5日(日) 12時～17時 雨天決行  
会場 桜並木通り、桜並木公園  
流し踊り、阿波踊り、模擬店等

### ●「大桜まつり」俳句の募集

馬込文士村大桜まつり会場で、大桜まつりにちなんだ俳句を募集します。

応募方法 当日10時～15時。桜並木公園内の本部前に設置される投句箱へ。住所、氏名、電話番号、年齢を記入。  
入選作品発表 当日16時。当情報紙139号及び大田区ホームページに記載。



### 川柳

龍哲

登下校子らに声かけ要る勇氣  
備蓄食試食多くて常にゼロ  
バス路線減便に悩む高齢者  
お米券できれば欲しいおかず券  
レジまでもお客にさせる人不足  
エサ不足冬眠できぬ熊社会  
サクラサク笑顔に変わる名文句

## 編集後記

年が明けて、早くも弥生三月を迎えました。梅の花も咲き、桜まつりももうすぐです。今年の陽気で桜の開花はいつになるのでしょうか。毎年このことながら、気になります。

「大桜まつり」や「するすみ祭り」などのイベントは、何よりもお天気が心配の種です。また、今年の夏の暑さはどんな具合か、今から気にとめずにはいられません。

地球の気候が変わりつつあるといわれるこのごろ、日本の四季の美しさはいつまでも変わらずにあつてほしいものです。